

平成22年度における契約状況のフォローアップ

平成23年9月
独立行政法人造幣局

1. 平成20年度と平成22年度に締結した契約の状況

(単位：件、億円)

	平成20年度		平成22年度		比較増△減		見直し計画	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
競争入札等	(85.6%) 304	(80.7%) 82	(83.9%) 271	(86.8%) 71	(△10.9%) △33	(△14.3%) △12	(88.2%) 313	(85.6%) 87
企画競争・公募	(3.9%) 14	(1.8%) 2	(8.1%) 26	(4.0%) 3	(85.7%) 12	(83.9%) 1	(6.8%) 24	(2.9%) 3
競争性のある契約 (小計)	(89.6%) 318	(82.4%) 84	(92.0%) 297	(90.8%) 74	(△6.6%) △21	(△12.2%) △10	(94.9%) 337	(88.5%) 90
競争性のない 随意契約	(10.4%) 37	(17.6%) 18	(8.1%) 26	(9.2%) 7	(△29.7%) △11	(△58.4%) △10	(5.1%) 18	(11.5%) 12
合 計	(100%) 355	(100%) 102	(100%) 323	(100%) 81	(△9.0%) △32	(△20.3%) △21	(100%) 355	(100%) 102

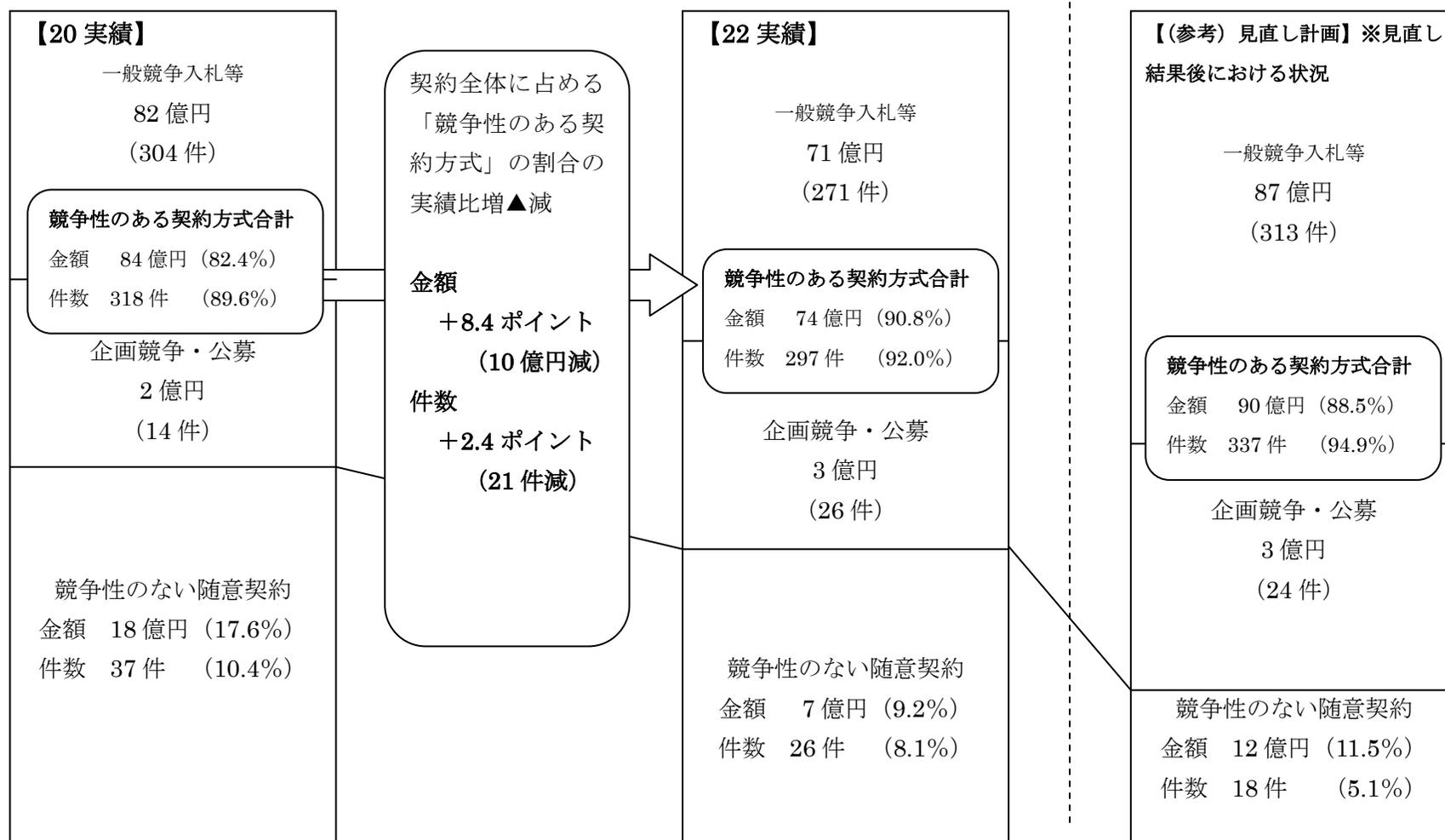
(注1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 比較増△減の()書きは、平成22年度の対20年度伸率である。

(注3) 見直し計画の計数等は、「独立行政法人の契約状況の点検・見直しについて(平成21年11月17日閣議決定)」に基づき公表した見直し計画である。

(注4) 「競争入札等」には、不落・不調の随意契約を含む。

(参考) 図表 平成20年度と平成22年度に締結した契約の状況



(注) 「一般競争入札等」には、不落・不調の随意契約を含む。

2. 見直し計画に掲げた競争性のない随意契約の割合に到達しなかった主な理由

○ 件数割合

随意契約等見直し計画において、競争性のない随意契約によらざるを得ない契約として想定・計上していた 18 件については、平成 22 年度においては、契約の締結の必要がなかったことにより 6 件少ない 12 件となったが、新たに、随意契約等見直し計画において想定・計上しておらず、競争性のない随意契約によらざるを得ない契約が 13 件発生したこと、及び、平成 23 年度に競争契約に移行を予定している契約が 1 件（ガスの供給に関する契約）あったことから、平成 22 年度において競争性のない随意契約によらざるを得ない契約が 26 件となったため。

なお、平成 22 年度に新たに発生した競争性のない随意契約によらざるを得ない契約 13 件の主なものは、貨幣の偽造防止に関する秘密随意契約 4 件、貨幣製造設備の動作不良に伴う調査作業のための緊急随意契約 2 件、貨幣セット用の外国貨幣の調達に関する随意契約 2 件となっている。

3. 平成 22 年度において、随意契約から一般競争入札等、企画競争、公募に移行した主な契約

該当なし

4. 一者応札・応募の改善状況

(単位：件、億円)

		平成 20 年度	平成 22 年度	比較増△減
2 者以上	件数	288 (90.9%)	263 (88.6%)	△25 (△8.7%)
	金額	78 (92.4%)	68 (92.0%)	△10 (△12.6%)
1 者以下	件数	29 (9.1%)	34 (11.4%)	5 (17.2%)
	金額	6 (7.6%)	6 (8.0%)	0 (△7.4%)
合 計	件数	317 (100%)	297 (100%)	△20 (△6.3%)
	金額	84 (100%)	74 (100%)	△10 (△12.2%)

(注 1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注 2) 合計欄は、競争契約（一般競争、企画競争、公募）を行った係数である。

(注 3) 比較増△減の（ ）書きは、平成 22 年度の対 20 年度伸率である。

5. 一者応札、一者応募に係る改善方策 (URL <http://www.mint.go.jp/bid/pdf/kaizenhousaku.pdf>)